

みんなのた場

サークル仲間 子育て仲間自ら運営 母子の笑顔弾けます

さくらんぼサークル

さくらんぼサークルは、河北地区で子育てしているお母さんたちが自ら企画、運営している集いです。原則として毎月1回、月末の火曜日の午前中に河北子育て支援センターに集まり、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごします。

足元を延ばして追波川河川運動公園まで遠足に行くこともあります。現在、会員は7人のお母さんと9人の0歳から4歳までの元気いっぱいの子どもたちです。会長の藤本優さんは「同じ子育て世代のお母さんたちで、気兼ねすることなく、リラックスした時間を楽しんでいきます。子どもたちはお友達同士と元気がいい。ここにこ笑う顔がそろいます」と、自身も笑顔です。



紙工作を楽しむ母子



仲良くボール遊び

会員は河北地区で生まれ育った人、お嫁さんに来た人、転勤で住んでいる人とさまざまです。藤本さんは転勤6年目で「よそから来た人は、心細いものがありますが、そんなお母さんこそぜひ参加してください」と話します。

6月26日の集いでは、紙工作をしました。梅雨に合わせ、赤と青の色紙でアジサイの花を用意、カタツムリの形に切った薄茶色の紙を貼っていきます。さっきまで走り回っていた子どもたちが今度は工作に夢中です。赤ちゃんたちは、お母さんに抱かれて、お兄さんお姉さんの遊びを見ています。会員となつて2年目の阿部有香さんは「お母さん同士が何でも話せる場です。一度、遊びに来てください」と呼び掛けています。

文化財たんぼ

102

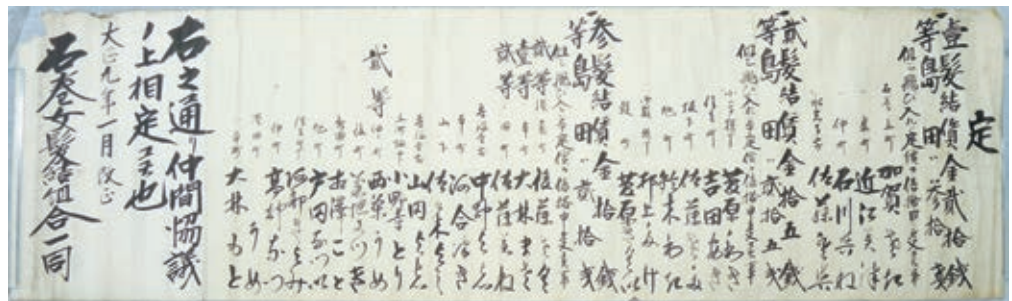
等級により異なる料金

生涯学習課

今年度、大正時代の石巻の髪結いに関する古文書などの資料の寄贈を受けました。今回の「文化財たんぼ」では、寄贈資料から石巻の髪結いについて紹介します。

そもそも髪結いとは、髪を結う職業のことを指し、江戸時代初期の段階では男性のみに許された仕事でした。明治時代になると女性の職業として公認され、女性髪結師は「出髪(でがみ)」と呼ばれる出張髪結いを主とし、道具一式を携えて良家の妻や商家の女将を得意先としながら活動を展開していきました。大正9(1920)年に作

出張の場合は規定の2倍以上の料金で仕事をしていました。また「特別技術」として「毛巻(カーリング)」「5銭」「香水洗髪(トニックシャンプー)」「10銭」「美爪術(マニキュア)」「50銭」「白毛染」50銭などもみられます。髪結いも理髪も髪を扱う仕事ではありませんが、その内容には大きな違いがあったようです。



寄贈された大正時代の髪結いに関する資料

キラッとパチリ

一人一人に寄り添う



石巻市立病院医師 遠藤 貴士 さん 41歳

平成27年4月から市立病院開成仮診療所に勤務しました。28年9月からは新築した市立病院に移り、現在は内科医長として働いています。出身は郡山市。前任は長野県の諏訪中央病院です。震災直後の23年8月、石巻に医療支援のため派



レバーが苦手な人も食べられます！鉄分たっぷり。梅味なので夏におすすめ。保育所で大人気のメニューです。

レバーが苦手な人も食べられます！鉄分たっぷり。梅味なので夏におすすめ。保育所で大人気のメニューです。

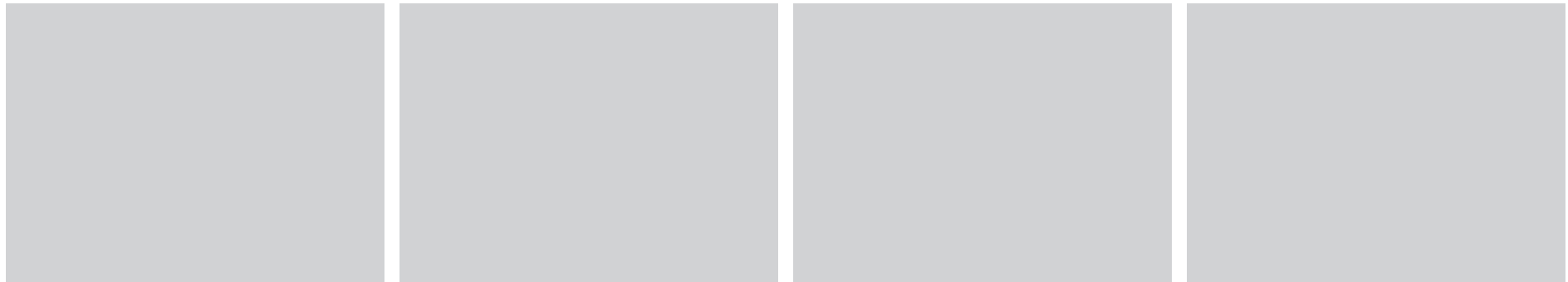
＜材料／1人分＞

- ・しょうゆ……………1ㇿ
- ・片栗粉……………適量
- ・揚げ油……………適量
- ・梅干し……………5ㇿ
- ・ざらめ糖……………2ㇿ
- ・三温糖……………2ㇿ
- ・酒……………2ㇿ
- ・水……………10ㇿ

＜作り方＞

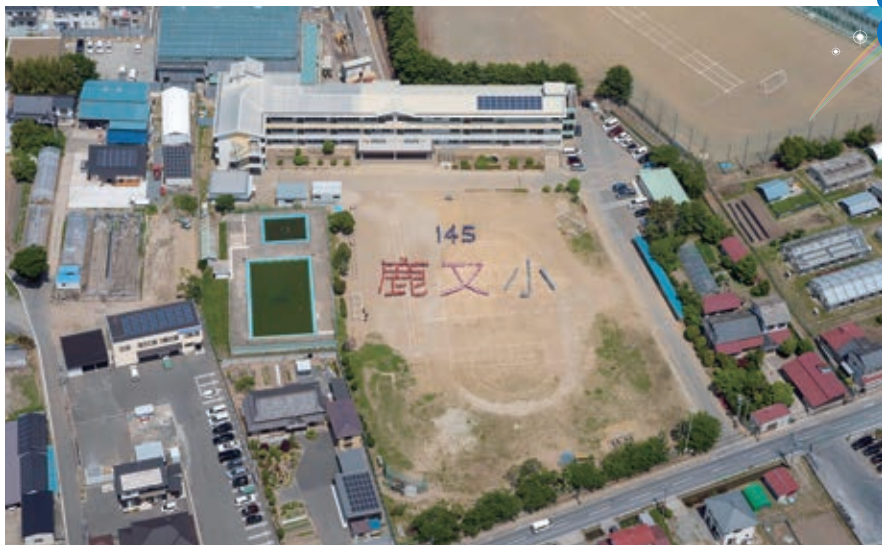
- ①レバーは流水でよく洗い、すりおろしたしょうが、にんにく、しょうゆで30分以上味をつけておく。
- ②レバーの水気を切り、片栗粉をまぶして、170℃の揚げ油で揚げる。
- ③梅干しは種を除き、果肉をみじん切りにし、ざらめ、三温糖、酒、水を加えて火にかけてたれを作り、揚げたレバーをからめる。

図 子ども保育課(内線2525)



5/29 河南 創立145年 人文字でお祝い

鹿又小学校



国際総合企画㈱ 提供



鹿又小は明治6(1873)年3月25日、宮城県初の小学校として開校しました。創立145周年を記念して5月29日、全校児童265人が校庭に「145 鹿又小」の人文字を作りました。青、赤、ピンクの鮮やかな布を五月晴れの空に向けて掲げ、セスナ機が撮影しました。校歌にある「三つの教え」(自立・協働・勤労)の精神を胸に、これからも夢と感動のある学校を目指します。

6/23 河北 さくらんぼ狩りツアーで交流

友好都市山形県河北町

「さくらんぼ狩りツアー」が6月23日、山形県河北町の果樹園「天心園」で行われました。市内在住の84人が参加し、甘く熟したサクランボを摘み取り、甘さを比較しながらサクランボ狩りを楽しみました。また、お土産用に摘みだてのサクランボも用意していただき、お目当ての商品もたくさん購入できました。その後は「ひなの湯」で昼食休憩し、「J Aひな産直センター」で買い物して交流してきました。



7/1 石巻 住民票など5種、コンビニ交付

市がサービス開始

7月1日から、マイナンバーカードを使い住民票の写し、印鑑登録、戸籍など5種類の証明書をコンビニエンスストアなどで交付するサービスを始めました。市内76のコンビニと、イオン石巻店で利用できます。セブン・イレブン石巻鑄銭場店であったオープニングセレモニーで亀山紘市長は「市民の利便性の向上につながる」とあいさつしました。



6/23 桃生 松林再生へ850本植樹

住民らシンボル守る

桃生地区の憩いの場になっている植立山公園の松林を再生しようと植林作業が6月23日にありました。まちづくり団体「ものう夢ネットワーク」と桃生公民館が共催し、住民ら約70人が850本のアカマツの苗木を丁寧に手植えました。松くい虫被害からの回復を目指そうと今年で3回目。計2050本になりました。今後も継続して地区のシンボルを守ります。



6/24 雄勝 神楽復活を描いた映画に感動

「海の産屋」上映会

雄勝法印神楽ドキュメンタリー映画「海の産屋」の上映会が6月24日、雄勝小・中学校でありました。震災の津波で46軒中、1軒だけを残し被災した立浜地区。残った12人の漁師たちが、さまざまな人からの支援を受ける中、翌2012年に神楽を復活させました。古事記の国生み神話を表した神楽と、海と共存しながら復興へと歩む人々の姿が重なり、会場は大きな感動に包まれました。



7/1 牡鹿 地域の安全担い規律訓練

牡鹿地区消防団

市消防団牡鹿地区団は7月1日、規律訓練を牡鹿清崎運動公園グラウンドで行いました。齋藤富嗣地区団長は訓示で「災害現場での秩序維持、団員相互の協調と統制を図る訓練」と意義を強調しました。その後、幹部、一般、新入団員に分かれ、隊列を整えるなどの訓練をしました。最後の部隊訓練では、団旗を掲げた行進などを行い、地域防災の柱として団結力を確認しました。



6/8 北上 白浜海水浴場にケヤキなど植樹

森林組合と石巻東ロータリー

石巻地区森林組合と石巻東ロータリークラブは6月8日、白浜海水浴場に広葉樹14本を植樹しました。橋浦、相川両保育所の園児らも協力し、ケヤキ2本、コナラとクヌギ各6本を植えました。今夏、震災後初めてフルオープンにこぎ着けた海水浴場の復興のシンボルとなり、多くの海水浴客らの憩いの場となるようにとの願いを込めました。

